

【追加資料1】

他自治体の施策について

◎家庭系ごみ

●食品ロス

- ・食べ残しを減らす取組に協力してくれる店を認定し紹介。
- ・冷蔵庫の中をチェックする表など

●資源化

- ・剪定枝、草木のたい肥化

燃やすごみではなく、資源物として、収集を行う。

(印西地区環境整備事業組合では、データがないが、秦野市で行った調査では、27%が草木類だった。)

- ・生ごみの堆肥化

燃やすごみの40%は厨芥類のため、生ごみの削減は減量化に大きく寄与する。

※ただし、印西市でも一度行っており、大規模で行う場合、品質などのため、たい肥の受入先に苦慮しているところが多い。

●リユースセンター

- ・例えば粗大ごみで捨てれば、有料だが、使用できるものは、リユースセンターで無料で引き取りなど

◎事業系ごみ

●千葉市の例

- ・事業系ごみの処分手数料の適正化（金額を処理費に基づき値上げ）

- ・搬入時の検査・指導

事業系ごみの搬入時に袋の中を検査し、古紙など資源物が入っている場合は、持ち帰らせたり、排出事業者に指導に訪問する等を行っている。

以上の施策により、前年度比約12%の削減効果があったとのこと。

(「ごみ減量 全国自治体の挑戦 服部美佐子」より)

●その他

事業系ごみの指定袋（量が小さい事業者用）

事業系ごみについても指定袋を使用（自己搬入の場合は中身の見える袋）